

2018年

7月号

# 福岡県連協活動報告

福岡県学童保育連絡協議会

〒805-0067 北九州市八幡東区祇園2丁目4-22  
TEL093-662-6000・FAX093-662-6006  
E-mail gakuforen@fukuoka-gkd.jp  
発行・福岡県学童保育連絡協議会



今回は活動報告が遅れ、申し訳ございません。異常な猛暑の中で夏休みに入り、子ども達は元気になっていますか。

6月に大阪府北部を震源として発生した「大阪北部地震」、また7月には西日本を中心に発生した集中豪雨「平成30年7月豪雨」により広島県・岡山県・愛媛県をはじめ、各地で大きな被害が出ています。

亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げるとともに、被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

全国学童保育  
連絡協議会

## 平成30年7月豪雨 学童保育支援募金の呼びかけ

全国学童保育連絡協議会は、学童保育の復旧への支援、および、子どもたちや学童保育指導員へのケアが必要になるであろうこと、そして、今回の災害が県域を越えて広域に及んでいることから、支援のための募金を呼びかけることにしました。

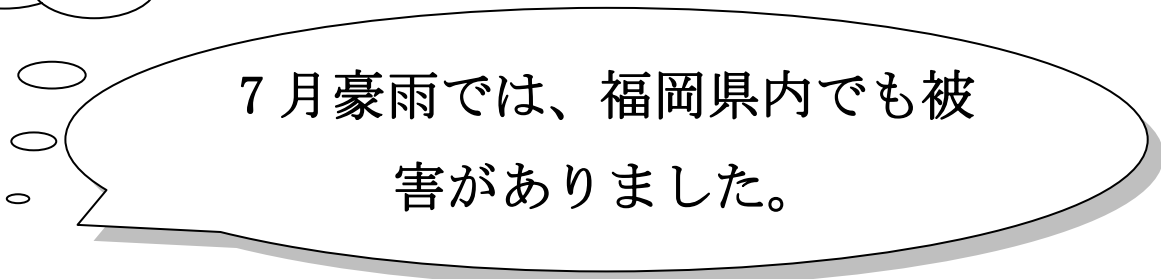
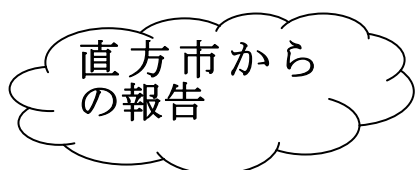
◎今回呼びかける募金は、

「平成30年7月豪雨」で甚大な影響があった府県の連絡協議会と相談のうえ、つぎのような取り組みに活用していく予定です。

- ① 学童保育施設の再建・補修や必要な備品などへの支援
- ② 学童保育の運営費への補助
- ③ 研修・相談活動など学童保育指導員への支援
- ④ 学童保育の拡充を支える体制づくりのため、被災した地域の学童保育連絡協議会等に対する支援

皆さんからお寄せいただいた募金は、今回の豪雨で甚大な影響があった府県の連絡協議会それぞれに必要とされる額をお届けします。なお、最終的に募金残高が生じた場合には、当該府県の連絡協議会が、各府県内の学童保育の防災対策に資する取り組みに活用させていただきます。全国の学童保育関係者の皆さん、ぜひとも広く学童保育関係者に募金へのご協力の呼びかけをお願いいたします。

\*\*\*\*\*  
平成 30 年 7 月豪雨 学童保育支援募金の振込先  
・三井住友銀行（銀行コード：0009）  
・小石川支店（店番号：813）  
・普通預金 3821589  
・名義：全国学童保育連絡協議会  
\*\*\*\*\*



直方市は7月6日（金）市内全域に避難指示が発令されました。

この時、学童に通われているご家庭でも、お母さんは生後間もない赤ちゃんを胸に抱き、1年生の男の子が胸まで水に浸かりながら避難したそうです。

この様な中、『感田こどもくらぶC』の施設が床上浸水の被害を受けてしまいました。

7日（土）朝、学童の様子を見に行ってくれた主任支援員からの一報を受け、学童に駆け付け目にした光景は、流された物が散乱し、絵本もおもちゃもおやつも水に浸かり、とても子どもたちを受け入れられるような状態ではなく、ただただ呆然と立ち尽くすしかありませんでした。

すぐに、こども育成課の職員の方も駆けつけ、復旧作業と週明けからの保育の受入れ等の協議が行われ、月曜日には市の職員の応援を受け復旧作業が始まりました。

それから1週間、毎日毎日『感田こどもくらぶA・B・C』の主任支援員を中心とした感田の支援員のみなさんが、朝から保育が始まる時間まで、照りつける陽射しの下で黙々と片付け作業をしてくださいました。休日には他の学童の支援員のみなさんも応援に駆け付けてくれて、何とか夏休み前に片付けの目処を立てることが出来ました。

現在、Cクラスの子どもたちは、仮の施設として準備していただいた感田小校舎の3階の空き教室で過ごしています。不便な事や足りない物も色々あるけれど、A・Bクラスの協力も得ながら、みんな元気に過ごしています。施設は被災したけれど、保育中ではなかったこと、人命に関わるような被害ではなかったこと、本当に良かったと心底思います。

**請願署名 20 万 8993 筆**

## **「従うべき基準」の堅持を求める請願が、 衆議院・参議院ともに厚生労働委員会に付託 されました**

2017 年末の閣議決定「平成29 年の地方からの提案等に関する対応方針」では、「設備運営基準」に示された「従うべき基準」（指導員の資格・職員配置）を「参酌化すること」について、「地方分権の議論の場」で検討し、2018 年度中に結論を得るとの方針が示されています。

全国学童保育連絡協議会（以下、全国連協）が呼びかけた、「従うべき基準」を堅持することを求める請願署名の取り組みには、たくさんのご協力・ご賛同をいただきました。この場を借りて、御礼申し上げます。

今国会の請願提出の締め切りである2018 年6月13 日までに、衆議院で46 人、参議院で20 人の議員が紹介議員を引き受けてくださり、合計で20 万300 筆の請願署名が国会で受理されました（なお、今国会の会期末は当初、6月20 日を予定していましたが、その後、7月22 日に延長されました。請願提出も7月13 日まで可能になり、衆議院で53 人、参議院で23 人の議員が紹介議員を引き受けてくださり、合計で20 万8993 筆の請願署名が国会で受理されました）。

この請願は、衆議院・参議院ともに厚生労働委員会に付託されました。今国会には、衆議院の厚生労働委員会だけでも、私たちの請願も含め、44 件の請願が付託されています。委員会で審査を行い、本会議で議論する必要があるか否かを区分する、採択すべきものか不採択とすべきものかを決定するにいたるまでには、国会議員へのさらなる働きかけが必要です。

## **福岡県学童保育連絡協議会 第 39 回定期総会 2018 年 8 月 19 日（日） になりました**

■日時：2018 年 8 月 19 日（日） 13：00～16：00

■場所：クローバープラザ 506 研修室 A

ワクワク！ドキドキ！  
ウキウキ！  
あそびの“ネタ”ではなく  
“タネ”を受け取る

講師：北島 尚志（アフタフバーバン代表）

ワークショップ学習会

7月13日～17日 遠賀・直方・朝倉

日時：2018年7月13日（金）

10：00～12：00

場所：遠賀南学童クラブ

参加：約20名（遠賀町3学童支援員・  
直方市支援員）



～感想より～

「久しぶりに何も考えずにゲラゲラ笑った。

笑うことがこんなにうれしいものか！

こんなに楽しいものか！と思った。そして、

同じ学童の支援員仲間みんなで参加して、みんなで笑い合えたことが良かった。」

「早速 学童で子どもたちと楽しもうと思った。最後の質問で『参加して楽しかったという理由は？ それを一文字で表して』と聞かれ、どの班も“笑”だったことに驚いたのとみんなの気持ちが一つだったことに感動した」

「笑顔、笑うということがこんなに人を楽しくさせ、周りを笑顔にするということが改めて解った。自分自身が笑顔でいること、笑っていることで、学童全体の雰囲気明るくなり、子どもたちが笑顔になるようにしようと思った。とても楽しくパワーをもらった。」



ふくし生協 直方市学童保育支援センター  
夏休み企画 親子ワークショップ  
わく・どき・ぐう  
**忍者参上!!**

**あそびは子どもの主食だ!!**



**日 時：2018年7月14日（土）19：00**

**場 所：直方市中央公民館1階 大会議室**

今年の夏休み親子企画は、NPO 法人あそび環境 Museum アフタフ・バーバンによる忍者修行（親子ワークショップ）をおこないました。

初めは「何が始まるか？」といった感じで遠巻きにみていたお父さん、お母さんも、いつの間にか子どもたちに負けじと忍者になりきっていました。

参加人数：こども35名 おとな30名 **合計65名**

～参加者の声～（新入学童クラブ 保護者）

子どもだけではなく、大人も笑顔で最後まで楽しむことが出来た1時間半でした。講師の方の話も面白くて良かったです。

普段見る事の出来ない子どもの、のびのびした表情や、成長している姿を見るいい機会になりました。小さな子どもを連れての参加でもスタッフの方が対応してくださり助かりました。

とても楽しい時間を過ごさせてもらい、ありがとうございました。

**日 時：2018年7月17日（火）10：00～12：00**

**場 所：朝倉市女性センターあすみん**

参加者 18名（朝倉市支援員）

この日も猛暑でしたが室内は冷房がきいていて動きやすかった。

ラッキー7から始まり10個のゲームをしました。初めて顔を合わせた人もいたのですが2～4人のグループを作りゲームごとに常にメンバーを入れ替えた事で段々と打ち解けていきました。1時間半程が短く感じられました。

遊びに決まりはない。ルールはあってもその場に応じてかえる、答えは一つじゃない、買った物でなくてもそこにある物で遊べる。支援員は響（共、興）感者として上から目線ではなく点でその時の子供達と遊びを共有し関わる事が遊びを広げる事になるとゲームをして感じました。

遊びのネタからタネがうまれる瞬間をたくさん見たいと思った2時間でした。

金川学童保育所 支援員

# 第53回全国学童保育研究集会in神奈川



## 全体会

2018年10月20日（土）

13:00～16:50

会場：横浜文化体育館（横浜市）

- 12:00 受付開始
- 13:00～13:30 歓迎行事
- 13:00～13:50 開会行事
- 13:50～14:15 基調報告
- 14:15～15:00 特別報告
- 15:15～15:25 「日本の学童ほいく」  
普及拡大アピール
- 15:25～16:45 記念講演
- 16:50 閉会

## 分科会

2018年10月21日（日）

9:30～16:00

会場：関東学院大学・  
金沢八景キャンパス（横浜市）

◆記念講演「子ども時代は二度と来ない—『子供』が『こども』でいられるための5つの権利—」 増山 均(早稲田大学名誉教授)

※今回も県連で参加を取りまとめます。（開催地の実務を滞りなくすすめるため）県連で飛行機の団体割引とホテルのセットでなるべく安く行けるように考えています。又詳しいことはお知らせいたします。共に学び合えるよう、みんなで参加しましょう！

申し込みは、福岡県連協へ（「参加申し込み書」に記入し、県連まで FAX  
でお願いいたします） FAX093-662-6006

## 研修の予定

案内は既に各市町村  
に配信しています！

◎2018年度 放課後児童支援員 新人基礎研修

2018年9月30日・大野城まどかぴあ

◎2018年度 主任放課後児童支援員研修会

2018年10月14日・春日市ふれあい文化センター